## C. BECHSTEIN



# 第2回 杉並公会堂ベヒシュタイン 室内楽コンクール

CHAMBER MUSIC-COMPETITION

2019年10月に初めて開催された 「杉並公会堂ベヒシュタイン室内楽コンクール」の第2回開催が決定しました。 2021年10月1日より参加者の募集をスタートします。

く日時・会場>

■予選: 2022年5月14日 (土) ■本選: 2022年5月22日 (日)

■会場:杉並公会堂 小ホール

<募集期間>

■募集開始:2021年10月1日(金) ■応募締切:2022年4月15日(金)

(当日消印有効)

<参加資格>

■年齢35歳まで

■国籍不問

主催 株式会社 ベヒシュタイン・ジャパン

共催 杉並公会堂(株式会社 京王設備サービス)

ヨーロッパのサロン文化に育まれてきたベヒシュタインのピアノは、 室内楽のアンサンブル楽曲演奏にも高い能力を発揮することから、 ベヒシュタインピアノを常設する杉並公会堂と㈱ベヒシュタイン・ジャパンの共催により、 音楽の新たな可能性を見出して頂くことを主眼に開催するものです。 皆様のご参加をお待ちしております。

#### 応募要項のご請求、お問合せは下記までご連絡ください。

株式会社ベヒシュタイン・ジャパン 営業企画室 担当:町田

E-mail: competition@bechstein.co.jp



ウェブサイト:https://www.bechstein.co.jp/news/2nd suginami chambermusic competition/



### 第2回 杉並公会堂ベヒシュタイン 室内楽コンクール

#### ■演奏課題

ピアノを含む2名~6名の室内楽編成での参加 自由曲。予選・本選同曲不可、複数曲可、繰返しなし 編曲作品原則不可(演奏時間 予選6分~10分・本選30分~40分)

■使用ピアノ

C. BECHSTEIN D-280 フルコンサートグランドピアノ

■参加料

コンクール予選 : 1組 ¥22,000 本選:1組¥15,000

正賞:杉並公会堂 大ホールでの第1位・第2位合同演奏会

※2023年2月開催予定。 副賞:1位10万円 2位5万円

#### ■審査員

#### 近藤 嘉宏 (Pf)



川崎市出身。桐朋女子高等学校(共学)を経て桐朋学園大学を首席卒業、その後ミュンヘン国立音楽大学マイスターコースにおいて名匠ゲルハルト・オビッツに師事。1987年日本音楽コンクール第2位。1992年ミュンヘン交響楽団との共演でデビューし大成功を収め、国内では1995年に正式デビュー。以来日本を代表するピアニストとして第一線で活躍。Denon,Philips、Deccaなど数多くのレーベルから30枚以上のCDをリリース。欧米、韓国など国際的にも演奏活動を展開、ウィーンのムジークフェラインやニューヨークのカーネギーホールにも出演、また海外の音楽祭にも招かれている。ソリストとして国内外のオーケストラに客演、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、クリスティアン・マンデアル、外山雄三、秋山和慶など多くのマエストロとも共演を重ねており、その音楽性に厚い言頼が寄せられている。

#### 末永 匡(Pf)



桐朋学園大学、ベルリン芸術大学、フライブルグ音楽大学、モーツァルテウム音楽院で研鑚を積む。2006年ドイツ演奏家国家資格を授与される。2009年東京文化会館にて公式デビュー。圧倒的なパフォーマンスが認められ、日本国内はじめアジア、中東、ヨーロッパの各地で国際的な演奏活動を展開。ソロのみならず著名な演奏家との室内楽、国内外のオーケストラからソリストとして抜擢されるなど、数々の共演を重ね成功を収めている。「多様性、自己との対峙、人間存在を問うこと」は末永の音楽哲学の本質であり、自身の音楽を追求する揺るぎない確固たる姿勢は多くの聴衆の共感を呼んでいる。
1stアルバム「Intermezzo」がレコード芸術誌にて準特選盤に選出。2ndアルバム「tragico」が秋にリリース予定。所属事務所ミリオンコンサート協会。これまで、中島和彦、G、ミショリー、H.ライグラフ、D.クラウス、Eアンドレアスの各氏に師事。

#### 西野 ゆか(Vn)



相別学園大学音楽学部を経て同大学研究科修了。第45回全日本学生音楽コンクール第2位。これまでにヴァイオリンを梅津南美大、鷲見健彰の各氏に師事。大学在学中にクァルテット・エクセルシオを結成。1996年第2回大阪国際室内楽コンクール第2位。2000年第5回パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位(第2位)及び、サルバトーレ・シャリーノ特別賞受賞。2008年第19回新日鐵音楽賞「フレッシュ・アーティスト賞」、2014年第16回ホテルオークラ音楽賞受賞。2016年6月までの6年間「サントリーホール室内楽アカデミー」にて後進の指導にもあたる。同年、サントリーホール主催ベートーヴェン弦楽四重奏全曲チクルスを日本の団体として初めて演奏。また2009年よりNPO法人エク・プロジェクトとして活動し、 また2009年よりNPO法人エク・プロジェクトとして活動し、 演奏活動、アウトリーチ活動や後進の指導など、弦楽四重奏を 中心とする室内楽文化の普及振興に力を注いでいる。東京藝術 大学音楽学部室内楽科非常勤講師。

#### 野田 祐介(Cl)



1) 16歳よりクラリネットを横川晴児に師事。パリ市立第10区音楽院、ヴェルサイユ地方音楽院を経てパリ国立高等音楽院を一等賞を得て卒業。クラリネットをクロード・ドゥシュルモン、アンドレ・ブータール、ギィ・ドゥプリュの各氏に師事。室内楽をピエール=イヴ・アルトー氏に師事。2003年群馬交響楽団に第一奏者として入団、現在に至る。第6回日本管打楽器コンクール・クラリネット部門入選、第3回日本クラリネットコンクール第3位入賞。プラハ放送交響楽団、ニューフィルハーモニー千葉、群馬交響楽団と協奏曲を共演。NHK-FMリサイタル出演。なにわ《オーケストラル》ウィンズメンバー。群響団員による室内楽《Ensemble G》主宰。習志野シンフォニエッタメンバー。第78回、第81回日本音楽コンクール・クラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽コンクールクラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽コンクールクラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽コンクールクラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽コンクールクラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽コンクールクラリネット部門審査員。第4回秋吉台音楽学部、東京藝術大学で後進の指導にもあたる。